

【66kV岩松線】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			平日	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	12時00分～12時30分			前月断面
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	石炭	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	石油	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	LNG	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			平日	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	12時00分～12時30分			前月断面
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由		揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし	—	—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			平日	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	12時00分～12時30分			前月断面
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()			
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス電源、揚水式発電機を含む）、電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		
	「暫定措置」において ノンファーム電源は一律											
	合計					—					—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()			
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス電源（ＦＩＴを除く）、揚水式発電機を含む）、電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		
	「暫定措置」において ファーム電源は対象外											
	合計					—					—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()			
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資源バイオマス電源（出力制御が困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		
	「暫定措置」において ノンファーム電源は一律											
	合計					—					—	
					理由毎の発電所数				理由毎の発電所数			
(出力制御が困難なもの)												

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【66kV富川線】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			平日	12時00分～12時30分			前月断面	土曜	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	11時00分～11時30分			前月断面
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	石炭	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	石油	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	LNG	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			平日	12時00分～12時30分			前月断面	土曜	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	11時00分～11時30分			前月断面
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由		揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由		揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし	—	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			平日	12時00分～12時30分			前月断面	土曜	12時00分～12時30分			前月断面	日祝日	11時00分～11時30分			前月断面
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()				
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス電源、揚水式発電機を含む）、電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由			
	「暫定措置」において ノンファーム電源は一律																
合計					—				—				—				
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()				
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス電源（ＦＩＴを除く）、揚水式発電機を含む）、電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由			
	「暫定措置」において ファーム電源は対象外																
合計					—				—				—				
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()		月 日	時 分～ 時 分	断面()				
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資源バイオマス電源（出力制御が困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由			
	「暫定措置」において ノンファーム電源は一律																
	合計					—				—				—			
(出力制御が困難なもの)				理由毎の発電所数				理由毎の発電所数				理由毎の発電所数					

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【66kV岩松線】自然変動電源の出力抑制を行う必要性

（単位：万kW）

				自然変動電源の出力抑制実施日		平日		日祝日					
				自然変動電源の出力抑制期間		7時00分～14時00分		7時00分～16時00分					
				自然変動電源の最大抑制量		0.20		0.20					
				自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻		12時00分～12時30分		12時00分～12時30分					
						前月断面					前月断面		
※自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻における、調整電源ほかの出力抑制後、かつ自然変動電源の出力制御前の予想潮流であり、想定潮流誤差を含む。	※ファーム型接続については特高連系分。高圧以下連系分は一般需要に含む。	調整電源		ノンファーム型接続	(A-1)	—			—				
				ファーム型接続	(A-2)	—			—				
		非調整電源	火力 (混焼バイオマス含む)	ノンファーム型接続	(B-1)	—			—				
				ファーム型接続	(B-2)	—			—				
			蓄電設備（放電）	ノンファーム型接続	(C-1)	—			—				
				ファーム型接続	(C-2)	—			—				
			専焼バイオマス	ノンファーム型接続	(D-1)	—			—				
				ファーム型接続	(D-2)	—			—				
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの以外)	ノンファーム型接続	(E-1)	—			—				
				ファーム型接続	(E-2)	—			—				
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの)	ノンファーム型接続	(E-3)	—			—				
				ファーム型接続	(E-4)	—			—				
			太陽光	ノンファーム型接続	(F-1)	0.20			0.20				
				ファーム型接続	(F-2)	—			—				
			風力	ノンファーム型接続	(G-1)	—			—				
				ファーム型接続	(G-2)	—			—				
			原子力	ノンファーム型接続	(H-1)	—			—				
				ファーム型接続	(H-2)	—			—				
			一般水力	ノンファーム型接続	(I-1)	—			—				
				ファーム型接続	(I-2)	8.10			8.14				
			地熱	ノンファーム型接続	(J-1)	—			—				
				ファーム型接続	(J-2)	—			—				
		混雑系統以下の需要等	一般需要※		※ファーム型接続電源（高圧以下連系）を含む。		(K)	0.36		0.34			
			揚水式発電機の揚水運転				(L)	—		—			
			需給バランス改善用の蓄電設備の充電				(M)	—		—			
		混雑系統以下の電源等 計①（A～Jの合計）						8.30			8.34		
		混雑系統以下の需要等 計②（K～Mの合計）						0.36			0.34		
		想定誤差量③						0.00			0.00		
		予想潮流④（＝①－②＋③）						7.94			8.00		
						前月断面					前月断面		
必要性	運用容量⑤					7.20			7.20				
	判定					○			○				
	誤差量を織り込んだ抑制必要量※（＝④－⑤）					0.74			0.80				
	自然変動電源の抑制必要量					0.20			0.20				

※ 実需給断面においても自然変動電源を含むノンファーム型接続電源の抑制のみで運用容量以下にならない場合は、必要に応じてファーム型接続電源を抑制する

【66kV富川線】自然変動電源の出力抑制を行う必要性

（単位：万kW）

			自然変動電源の出力抑制実施日			平日			土曜			日祝日		
			自然変動電源の出力抑制期間			10時00分～13時00分			10時00分～13時00分			9時00分～14時00分		
			自然変動電源の最大抑制量			0.18			0.17			0.25		
			自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻			12時00分～12時30分			12時00分～12時30分			11時00分～11時30分		
						前月断面			前月断面			前月断面		
※自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻における、調整電源ほかの出力抑制後、かつ自然変動電源の出力制御前の予想潮流であり、想定潮流誤差を含む。	予想潮流※	混雑系統以下の電源等※	調整電源	ノンファーム型接続 (A-1)	—			—			—			
				ファーム型接続 (A-2)	—			—			—			
			非調整電源	火力 (混焼バイオマス含む)	ノンファーム型接続 (B-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (B-2)	—			—			—		
				蓄電設備 (放電)	ノンファーム型接続 (C-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (C-2)	—			—			—		
				専焼バイオマス	ノンファーム型接続 (D-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (D-2)	—			—			—		
				地域資源バイオマス (出力制御困難なもの以外)	ノンファーム型接続 (E-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (E-2)	—			—			—		
				地域資源バイオマス (出力制御困難なもの)	ノンファーム型接続 (E-3)	—			—			—		
					ファーム型接続 (E-4)	—			—			—		
				太陽光	ノンファーム型接続 (F-1)	0.40			0.40			0.40		
					ファーム型接続 (F-2)	2.81			2.82			2.81		
				風力	ノンファーム型接続 (G-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (G-2)	—			—			—		
				原子力	ノンファーム型接続 (H-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (H-2)	—			—			—		
				一般水力	ノンファーム型接続 (I-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (I-2)	0.00			0.00			0.00		
				地熱	ノンファーム型接続 (J-1)	—			—			—		
					ファーム型接続 (J-2)	—			—			—		
	混雑系統以下の需要等	一般需要※ ※ファーム型接続電源 (高圧以下連系) を含む。 (K)	▲ 0.97			▲ 0.95			▲ 1.04					
		揚水式発電機の揚水運転 (L)	—			—			—					
		需給バランス改善用の蓄電設備の充電 (M)	—			—			—					
	混雑系統以下の電源等 計① (A～J の合計)					3.21			3.22			3.21		
	混雑系統以下の需要等 計② (K～M の合計)					▲ 0.97			▲ 0.95			▲ 1.04		
	想定誤差量③					0.00			0.00			0.00		
	予想潮流④ (=①－②＋③)					4.18			4.17			4.25		
						前月断面			前月断面			前月断面		
必要性	運用容量⑤					4.00			4.00			4.00		
	判定					○			○			○		
	誤差量を織り込んだ抑制必要量※ (=④－⑤)					0.18			0.17			0.25		
	自然変動電源の抑制必要量					0.18			0.17			0.25		

※ 実需給断面においても自然変動電源を含むノンファーム型接続電源の抑制のみで運用容量以下にならない場合は、必要に応じてファーム型接続電源を抑制する

【共通】 カレンダー

2026 年 5 月

日	月	火	水	木	金	土
					5/1 平日	5/2 土曜
5/3 日祝日	5/4 日祝日	5/5 日祝日	5/6 日祝日	5/7 平日	5/8 平日	5/9 土曜
5/10 日祝日	5/11 平日	5/12 平日	5/13 平日	5/14 平日	5/15 平日	5/16 土曜
5/17 日祝日	5/18 平日	5/19 平日	5/20 平日	5/21 平日	5/22 平日	5/23 土曜
5/24 日祝日	5/25 平日	5/26 平日	5/27 平日	5/28 平日	5/29 平日	5/30 土曜
5/31 日祝日						